

清掃一組だより

第 5 号



発行日：平成16年 11月15日

発行：東京二十三区清掃一部事務組合

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目三番地1

富士・国保ビル

Tel 03-5361-3616

Fax 03-5361-3636

東京二十三区清掃一部事務組合は、

循環型社会の形成を目指しています。

世田谷清掃工場の建設

世田谷清掃工場の建替えにあたり、旧工場が昭和44年から平成14年9月まで33年余りの操業を停止した後、同年10月に近隣住民代表、区、清掃一組の三者による世田谷清掃工場建設協議会を設置しました。

これまで建設協議会を8回開催し、解体工事及び建設工事の概要などについてご説明してきました。これからも工程の節目に開催し、建設工事の進捗状況や予定などをお知らせし、ご意見などを伺いながら工事を進めていきます。

また、建設協議会開催後には広報紙「建協だより」を発行し、協議会の開催状況、工事工程などをお知らせしています。最新の第8号では、10月に開催した建設工事説明会の内容もあわせて掲載しています。

清掃一組では、焼却灰を全量溶融するために施設整備を進めています。世田谷清掃工場では、ごみの焼却から灰の溶融まで連続して行えるガス化溶融炉を採用しました。また、他工場（千歳・杉並）の焼却灰用として灰溶融炉を設けます。

ごみ・灰は、溶融することにより、スラグ（人工砂）となりますが、これを建設資材として有効に利用します。



世田谷清掃工場の外観完成予想図

■ 工事概要

- | | | | |
|--------|---|------|----------|
| ○ 工事場所 | 世田谷区大蔵一丁目1番1号 | 敷地面積 | 約32,000㎡ |
| ○ 工場棟 | 鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） | 高さ | 約31m |
| ○ 煙突 | 鉄筋コンクリート造外筒（既存再使用）・鋼製内筒型 | 高さ | 約100m |
| ○ プラント | 焼却炉 全連続燃焼式ガス化溶融炉（流動床式）150トン/日・炉×2基
灰溶融炉 電気加熱式灰溶融炉（プラズマ式）60トン/日・炉×2基
廃棄物発電設備 | 定格出力 | 約6,750kW |
| ○ 工期 | 平成16年7月21日～平成19年12月14日（建設工事） | | |
| ○ 設計施工 | 川重・飛島・地崎建設共同企業体 | | |

■ ガス化溶融炉及び灰溶融炉

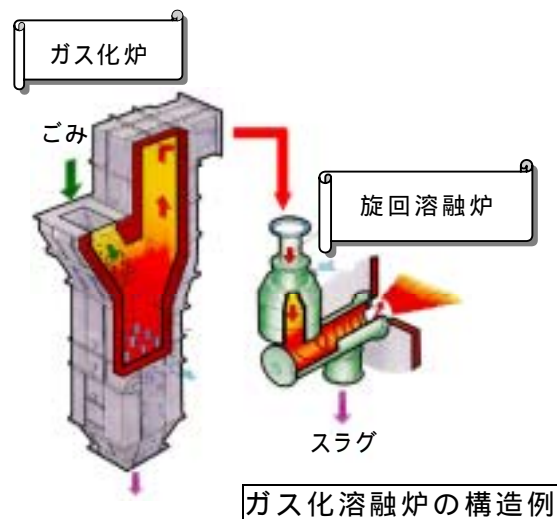
ガス化溶融炉：ごみの持っているエネルギーを利用して灰の溶融まで一貫して処理でき、施設がコンパクトで、経済性、環境保全性に優れています。搬入されたごみを一度破碎して破碎ごみバンクに貯留し均質化した後、炉に供給します。ガス化炉でごみを部分燃焼させ、得られた可燃性のガスとチャー（炭状の物質）を巡回溶融炉で高温燃焼し、溶融します。

灰溶融炉：他工場の灰を処理する灰溶融炉は、電気加熱式（プラズマ式）を採用し、ガス化溶融炉の廃熱による発電電力を利用します。

世田谷清掃工場は、ガス化溶融炉及び灰溶融炉をそれぞれ単独運転できるようにしますが、建設費を考えて、排ガス処理設備の一部を共通化します。また、それぞれの炉のろ過式集じん器出口に中間ファンを設けることにより、炉内の空気の流れを安定的に制御し、熱分解ガスや排ガスの炉外への漏洩防止を徹底します。

■ 清掃一組スラグ有効利用の取組

清掃一組では、スラグを建設資材などへの利用拡大に努めています。資材への利用を促進するためにスラグの品質管理を行なっています。また、工場には、需要変動に対応するための貯留施設及び小規模な袋詰めからダンプカーへの積み込みまで行なう積み出し施設を設置して、需要先の使用量に応じて提供できるようにしています。



区長・区議会特別委員会等の視察

廃棄物処理施設の実態及び運営状況を調査するために、区長ほか幹部職員、区議会議員の方々が、清掃一組の施設（可燃ごみ、不燃ごみ及び粗大ごみ処理施設等）を視察されましたので、ご紹介します。

視 察 者	視察日時	視 察 場 所
石塚板橋区長	7 月 5 日	板橋清掃工場
青木目黒区長	7 月 15 日	目黒清掃工場
	11 月 1 日	中防処理施設・都埋立処分場
品川区議会自治制度特別委員会	7 月 1 日	四谷庁舎
文京区議会清掃・リサイクル特別委員会	7 月 21 日	新江東清掃工場
		中防処理施設・都埋立処分場
台東区議会清掃・リサイクル特別委員会	11 月 5 日	新江東清掃工場
		中防処理施設・都埋立処分場
江戸川区議会 生活振興・環境委員会	11 月 9 日	中防処理施設・都埋立処分場
東京二十三区清掃協議会 清掃担当部長会	7 月 8 日	豊島清掃工場
	7 月 9 日	新江東清掃工場 中防処理施設・都埋立処分場

「一般廃棄物処理基本計画策定」検討準備委員会が発足

～平成 17 年度中の基本計画策定に向け、23 区と共同で検討します。～

現行の「一般廃棄物処理基本計画」に基づく工場の施設整備は、概ね順調に進んでおり、平成 19 年度の世田谷清掃工場の竣工をもって終了しますが、平成 20 年代に入ると、竣工から 20 年を越える工場の建替えやプラント更新時期が順次到来すると考えられます。

現在清掃一組では、次期基本計画の策定準備を進めていますが、策定過程から 23 区と一緒に議論できるよう、「一般廃棄物処理基本計画策定」検討準備委員会を設置しました。

委員会は、23 区の清掃担当部長（ブロック選出者等）と清掃一組の関係部長から構成し、下部機関として課長級からなるワーキンググループを設置しました。

平成 16 年度中には「一般廃棄物処理基本計画」中の「施設整備計画」部分の素案をつくり、平成 17 年度中に基本計画全体を策定する予定です。

平成 16 年 11 月 1 日には、第 1 回の委員会が開催され、検討がスタートしました。23 区の清掃事業の一翼を担う清掃一組が、安定的かつ効率的な処理体制を確立できるよう、23 区と十分な議論を尽くし、基本計画を策定していきます。

環境大臣賞受賞 - 屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール

板橋清掃工場（平成 14 年 11 月プラント更新工事竣工）の壁面緑化が（財）都市緑化技術開発機構主催の第 3 回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール（平成 16 年 10 月）で「壁面・特殊緑化大賞（環境大臣賞）」を受賞しました。



板 橋 清 掃 工 場

●環境との共生●資源・エネルギーの循環●
地域との調和を 3 つの柱として「新しい環境創り」を目指し、プラント更新事業の先陣を切った板橋清掃工場が緑化技術の面で高い評価を受けました。

約 2,000 m²の壁面緑化は国内最大級で、生育実験を経た樹種選定、リサイクル軽量人工土壌採用、上下のアルミパネルによる伸び過ぎ防止と外観維持、ユニット化による事前育

成と工期短縮、雨センサー付自動灌水設備や自動施肥設備設置、維持管理性を追求した裏側点検歩廊設置など、数々の工夫を凝らしています。

板橋清掃工場は桜の名所として有名ですが、新しい壁面緑化も板橋清掃工場の新たなシンボルとして地域の皆さんに親しんでもらえるものと考えています。

東京二十三区清掃一部事務組合議会報告

平成16年第2回臨時会が7月20日(火)、第3回定例会が9月27日(月)に開催されました。
主な議事内容は以下のとおりです。

○第2回臨時会(平成16年7月20日(火)開催)

契約議案

議案番号	件名	概要	契約金額	結果
17	世田谷清掃工場建設工事請負契約の締結	ごみ焼却設備及び灰溶融設備の設置	(千円) 16,674,000	可決

○第3回定例会(平成16年9月27日(月)開催)

決算認定

認定番号	件名	概要	結果
1	平成15年度東京二十三区清掃一部事務組合一般会計歳入歳出決算の認定について	収入済額 771億6720万円 支出済額 742億4689万円 差引額 29億2031万円	財務委員会へ付託し 継続審査

契約議案

議案番号	件名	概要	契約金額	結果
19	大田清掃工場第二工場焼却炉補修及びボイラ設備等整備工事請負契約の締結	定期補修及びボイラ、煙道、灰処理、灰溶融設備等の整備	(千円) 2,278,500	可決
20	大田清掃工場第二工場プラント制御用電算システム整備工事請負契約の締結	電算システム中央操作卓等主要機器の更新	1,123,500	可決
21	杉並清掃工場灰汚水処理設備整備工事請負契約の締結	灰汚水処理設備の更新、改修	430,500	可決
22	墨田清掃工場飛灰搬出設備整備工事請負契約の締結	飛灰貯留及び搬出設備の設置	438,900	可決
23	中防不燃ごみ処理センター第二プラント補修工事請負契約の締結	定期補修	579,600	可決

報告

報告番号	件名	概要	賠償額
2	専決処分した事件の報告	連絡用車両の交通事故に係る損害賠償	282,890円

詳細は、下記のホームページをご覧ください。

東京二十三区清掃一部事務組合ホームページ (<http://tokyo23.seisou.or.jp/>)

- ・議会定例会会議録
- ・東京23区ごみ処理の流れ
- ・施設案内
 - 清掃工場、不燃ごみ処理センター、粗大ごみ破碎処理施設等
- ・清掃工場個人見学会、清掃工場だより
- ・財政状況の公表
- ・例規集(条例・規則等) その他